

ワイヤレス LAN コントローラの Web パススルーの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ワイヤレス LAN コントローラの Web パススルー](#)

[Web パススルーの WLC の設定](#)

[VLAN インターフェイスの作成](#)

[WLAN インスタンスの追加](#)

[WLC のリブート](#)

[Web パススルーのクライアント マシンの設定](#)

[クライアントの設定](#)

[Web パススルーの検証およびトラブルシューティング](#)

[クライアントの検証](#)

[Web パススルー認証の検証](#)

[Web パススルーのトラブルシューティング](#)

[Web パススルーのログイン ページのカスタマイズ](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ワイヤレス LAN コントローラ (WLC) の Web パススルー機能を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントは、初期設定がすでに完了していることを前提としています。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- 5.0.148.0 コードを実行する 4400 シリーズ WLC
- Microsoft Windows 2003 Server にインストールされた Cisco Secure Access Control

Server (ACS) バージョン 4.2

- Cisco Aironet 1230 シリーズ Lightweight アクセス ポイント
- Aironet Desktop Utility バージョン 3.6 がインストールされた Cisco Aironet 802.11 a/b/g CardBus ワイヤレス アダプタ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ワイヤレス LAN コントローラの Web パススルー

Web パススルーは、ゲスト アクセスによく使用されるソリューションです。Web パススルーのプロセスは、Web 認証と同様です。ただし、Web パススルーには認証クレデンシャルは必要ありません。

注: Web 認証の詳細については、『[ワイヤレス LAN コントローラの Web 認証の設定例](#)』 (英語) を参照してください。

Web パススルーでは、インターネットを初めて使用するワイヤレス ユーザは使用ポリシー ページにリダイレクトされます。ユーザがポリシーを承諾すると、インターネットをブラウズできます。ポリシー ページへのリダイレクトは WLC によって管理されます。

この例では、VLAN インターフェイスが WLC の別のサブネット上に作成されます。次に、Web パススルーによって個別の WLAN/SSID が作成および設定され、この VLAN インターフェイスにマップされます。Web パススルーはデータの暗号化を提供しないことに注意してください。

Web パススルーの WLC の設定

このセクションでは、WLC を Web パススルー用に設定するための情報を提供します。

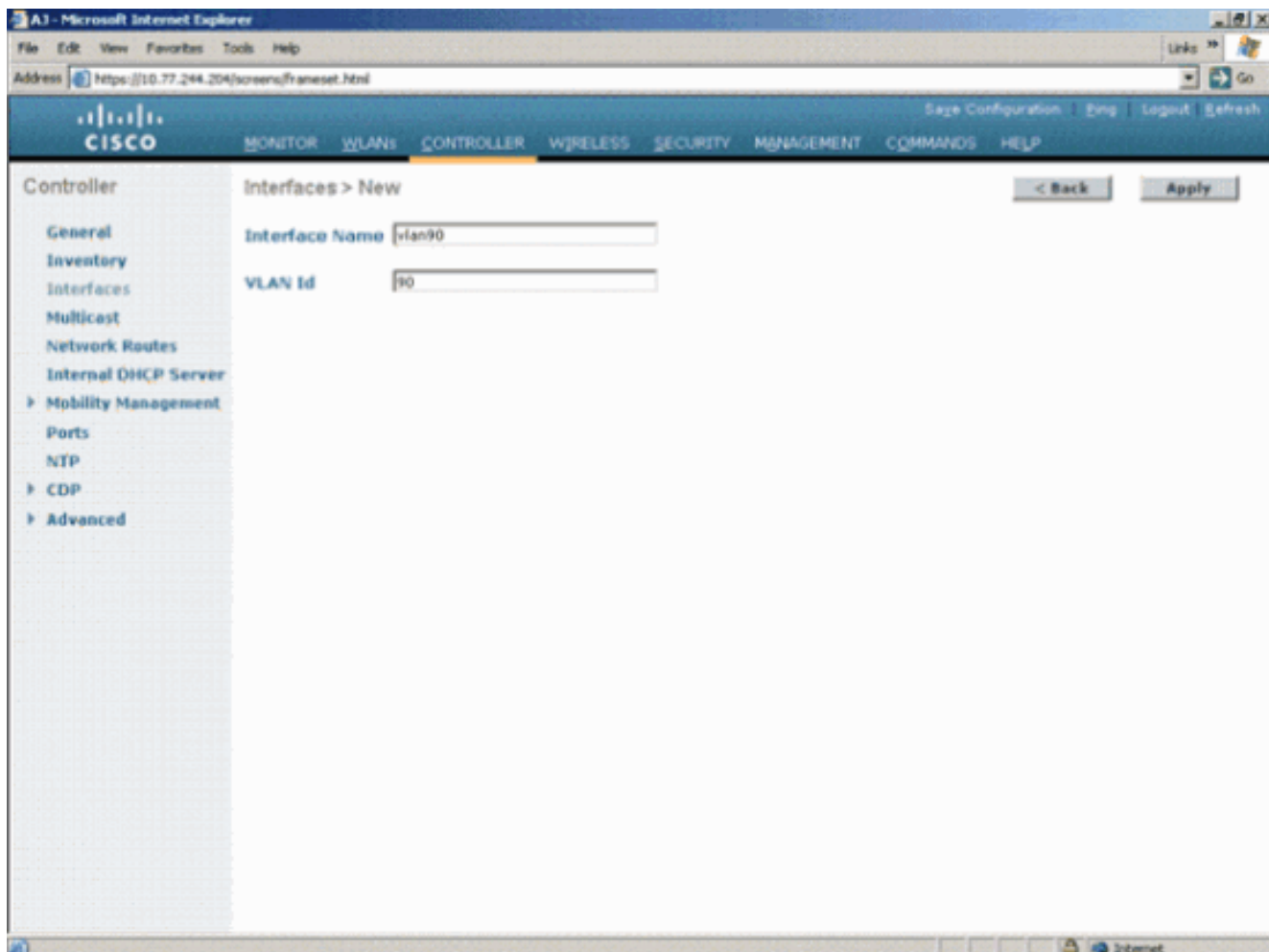
このドキュメントで使用する IP アドレスは次のとおりです。

- WLC の IP アドレスは 10.77.244.204 で、これは管理インターフェイスです。
- ACS サーバの IP アドレスは 10.77.244.196 です。

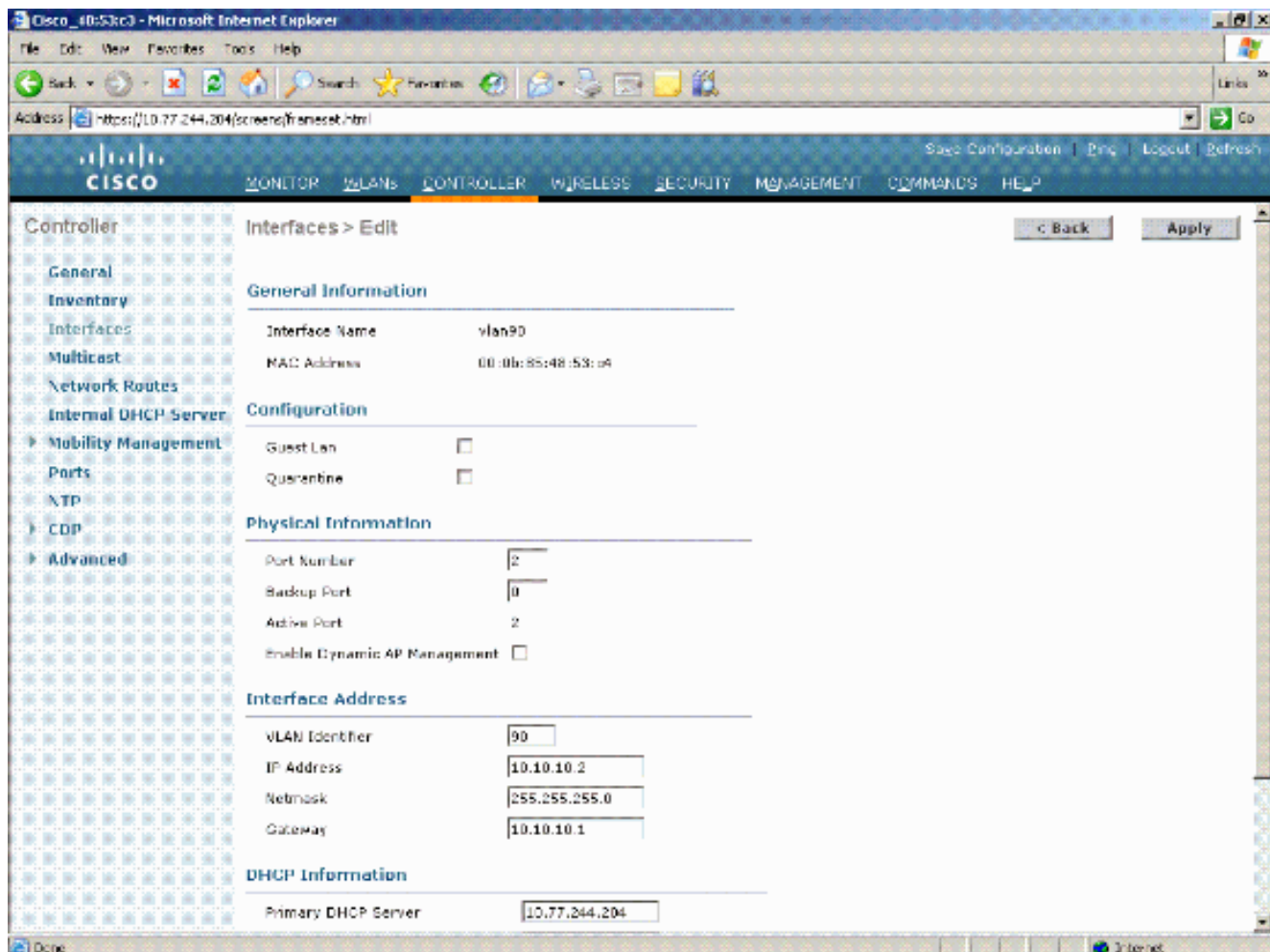
VLAN インターフェイスの作成

次の手順を実行します。

1. メインの [Controller] ウィンドウで、一番上のメニューから [Controller] を選択し、左側のメニューから [Interfaces] を選択して、ウィンドウの右上にある [New] をクリックします。図 1 のウィンドウが表示されます。この例では、インターフェイス名に *vlan90*、VLAN ID に 90 を使用しています。図 1



2. 右上の [Apply] をクリックします。[Interfaces > Edit] ウィンドウと、定義するパラメータが表示されます。この例では、パラメータに次の値を使用します。IP アドレス : 10.10.10.2
ネットマスク : 255.255.255.0 (24 ビット)
ゲートウェイ : 10.10.10.1
ポート番号 : 2注: これは、スイッチに接続されている WLC のアクティブ ポートの数であることに注意してください。
プライマリ DHCP サーバ : 10.77.244.204注: このパラメータには、RADIUS サーバまたは DHCP サーバの IP アドレスを指定する必要があります。この例では、WLC で内部 DHCP スコープが設定されているため、WLC の管理アドレスを DHCP サーバとして使用しています。WLC で DHCP を設定する方法の詳細については、『[ワイヤレス LAN コントローラの Web 認証の設定例](#)』（英語）の「[WLC での DHCP および DNS サーバの設定](#)」セクション（英語）を参照してください。
セカンダリ DHCP サーバ : 0.0.0.0注: この例ではセカンダリ DHCP サーバがないため、0.0.0.0 を使用しています。設定にセカンダリ DHCP サーバがある場合は、このフィールドにサーバの IP アドレスを追加します。ACL 名 : なし
図 2 は、これらのパラメータを示しています。図 2



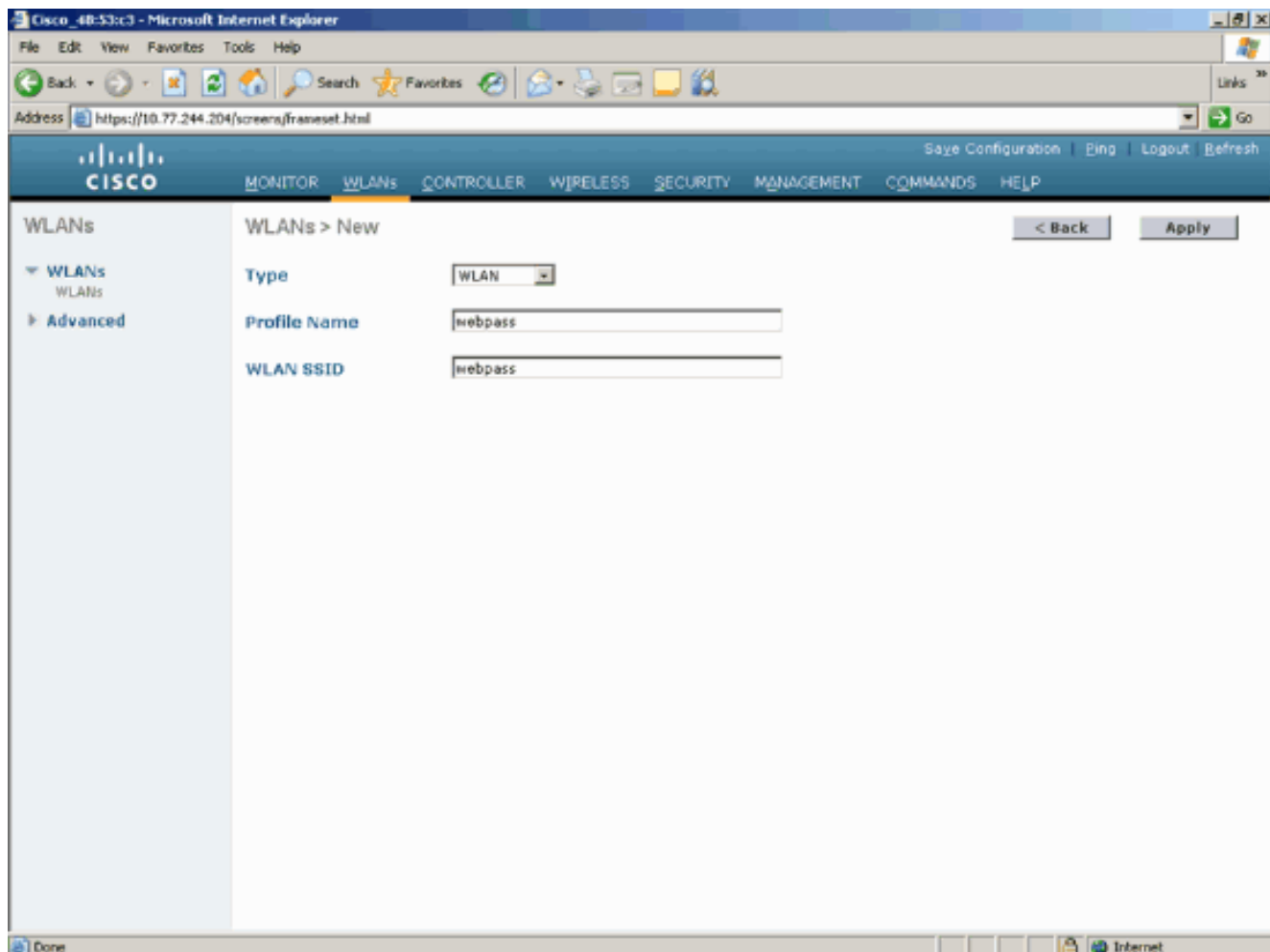
3. [Apply] をクリックして変更を保存します。

WLAN インスタンスの追加

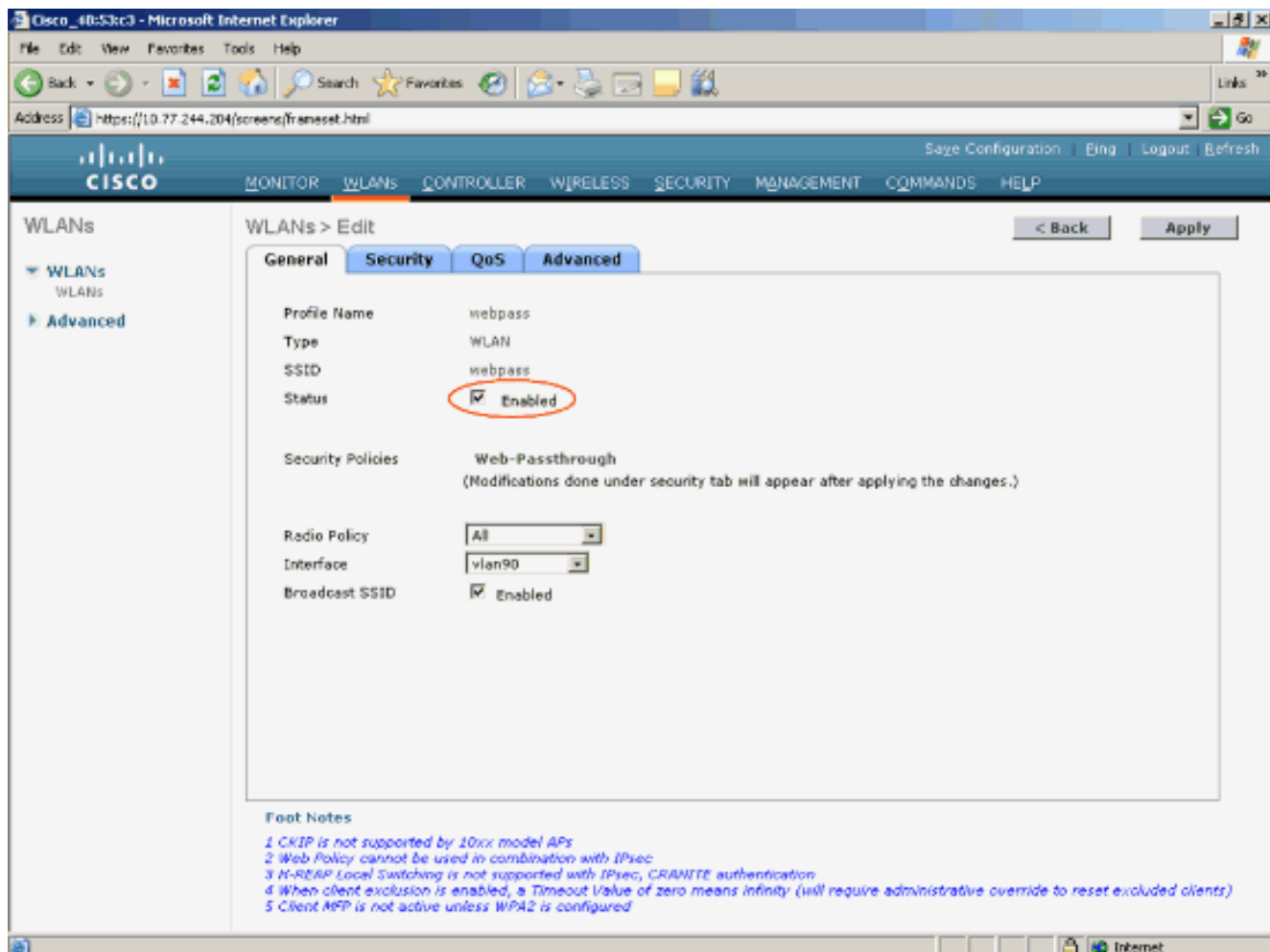
Web パススルー専用の VLAN インターフェイスを取得したので、新しい WLAN/SSID を作成する必要があります。

新しい WLAN/SSID を作成するには、次の手順を実行します。

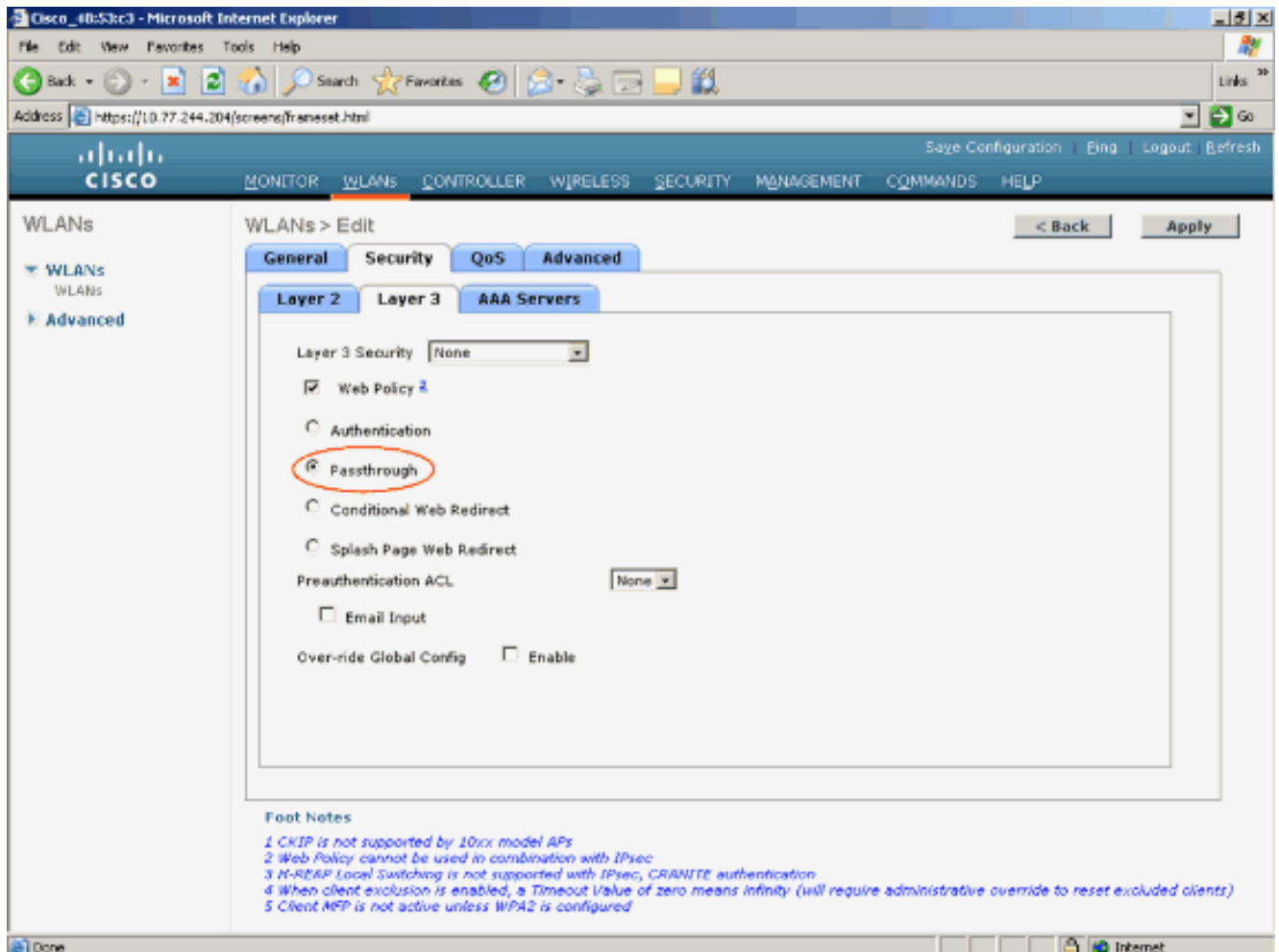
1. WLC ブラウザを開き、一番上のメニューで [WLAN] をクリックして、右上にある [New] をクリックします。図 3 に示すウィンドウが表示されます。図 3



2. Type として [WLAN] を選択します。Web パススルーのプロファイル名および WLAN SSID を選択します。この例では、Profile Name と WLAN SSID の両方に **webpass** を使用しています。
3. 右上隅の [Apply] をクリックします。図 4 に示すように、新しい [WLANs > Edit] ウィンドウが表示されます。このウィンドウは、4.2 以前の WLC のバージョンでは異なります。図 4



4. WLAN のステータス ボックスをオンにして WLAN を有効にします。[Interface] メニューから、先ほど作成した VLAN インターフェイスの名前を選択します。この例では、インターフェイス名は *vlan90* です ([図 4](#))。注: この画面の他のパラメータはデフォルト値のままにします。
5. [Security] タブを選択します。 [図 5](#) に示すウィンドウが表示されます。 [図 5](#)



Web パススルーを設定するには、次の手順を実行します。[Layer 2] タブをクリックし、セキュリティを [None] に設定します。注: 802.1x を使用するレイヤ 3 セキュリティとして Web パススルーを設定することはできません。また、WLAN のレイヤ 2 セキュリティとして WPA/WPA2 を設定することもできません。ワイヤレス LAN コントローラのレイヤ 2 およびレイヤ 3 セキュリティの互換性については、『[ワイヤレス LAN コントローラレイヤ 2 レイヤ 3 セキュリティの互換性マトリクス](#)』を参照してください。[Layer 3] タブをクリックします。図 5 に示すように、[Web Policy] チェックボックスをオンにし、[Passthrough] オプションを選択します。[Apply] をクリックして、この WLAN を WLAN スイッチの実行コンフィギュレーションに保存します。WLAN 要約ウィンドウに戻ります。SSID *webpass* の WLAN テーブルの Security Policies 列で、Web パススルーが有効になっていることを確認します。

WLC のリブート

システムがアクティブになっている間は WLAN を変更できないので、WLC をリブートする必要があります。変更は、ブートの前かブート中に行う必要があります。WLC をリブートするには、次の手順を実行します。

1. メインの Controller ウィンドウで、一番上のメニューにある [Commands] をクリックします。
2. 新しいウィンドウで、左側のメニューの [Reboot] をクリックします。設定に保存されていない変更がある場合は、保存してからリブートするように促されます。
3. 設定を保存してスイッチをリブートするには、**Save and Reboot** をクリックします。
4. コンソール接続からシステムのリブートを監視します。WLC がアップしたら、Web 認証サブスクライバを作成できます。

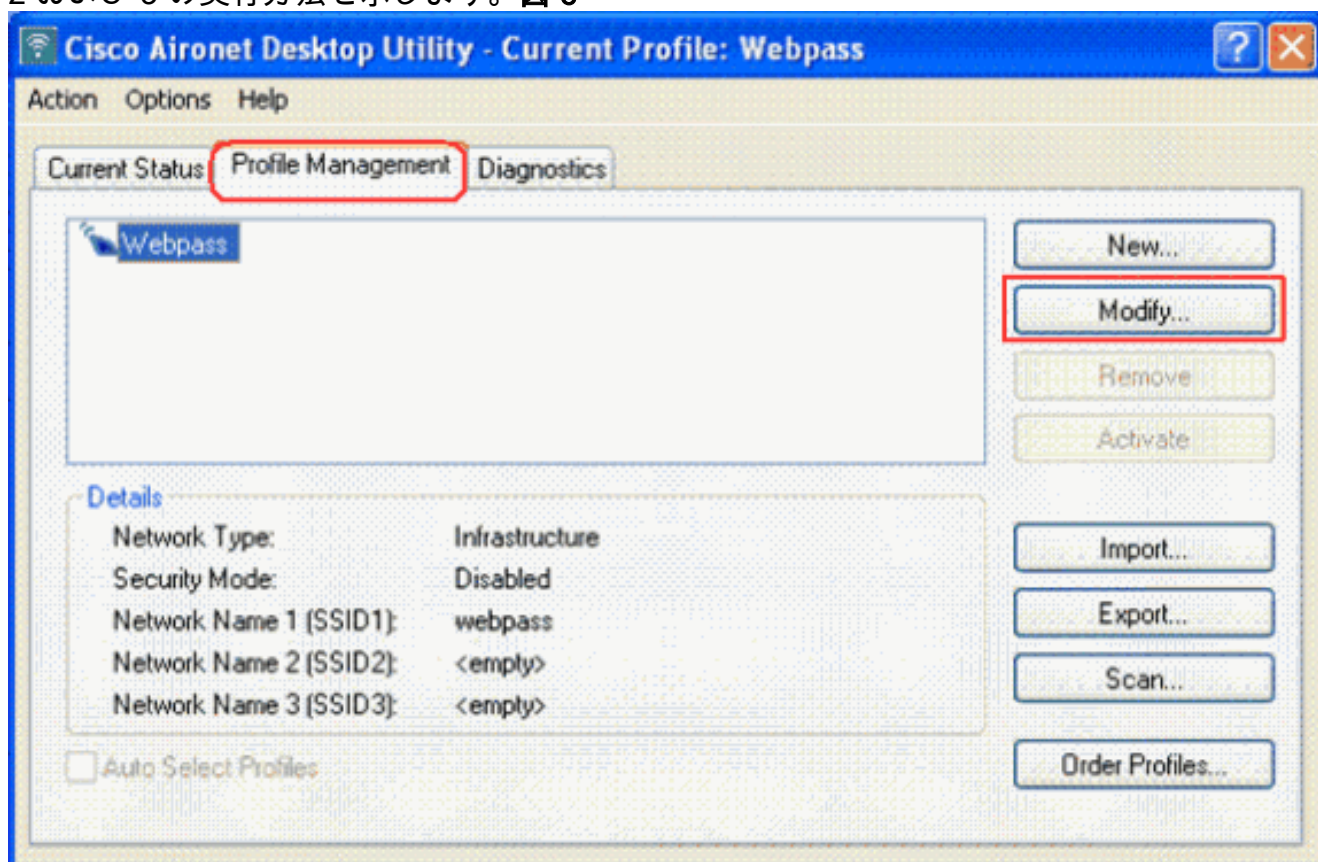
Web パススルーのクライアント マシンの設定

WLC を設定した後は、Web パススルー用にクライアントも設定する必要があります。このセクションでは、Cisco Aironet Desktop Utility を使用してクライアントを Web パススルー用に設定するための情報を提供します。

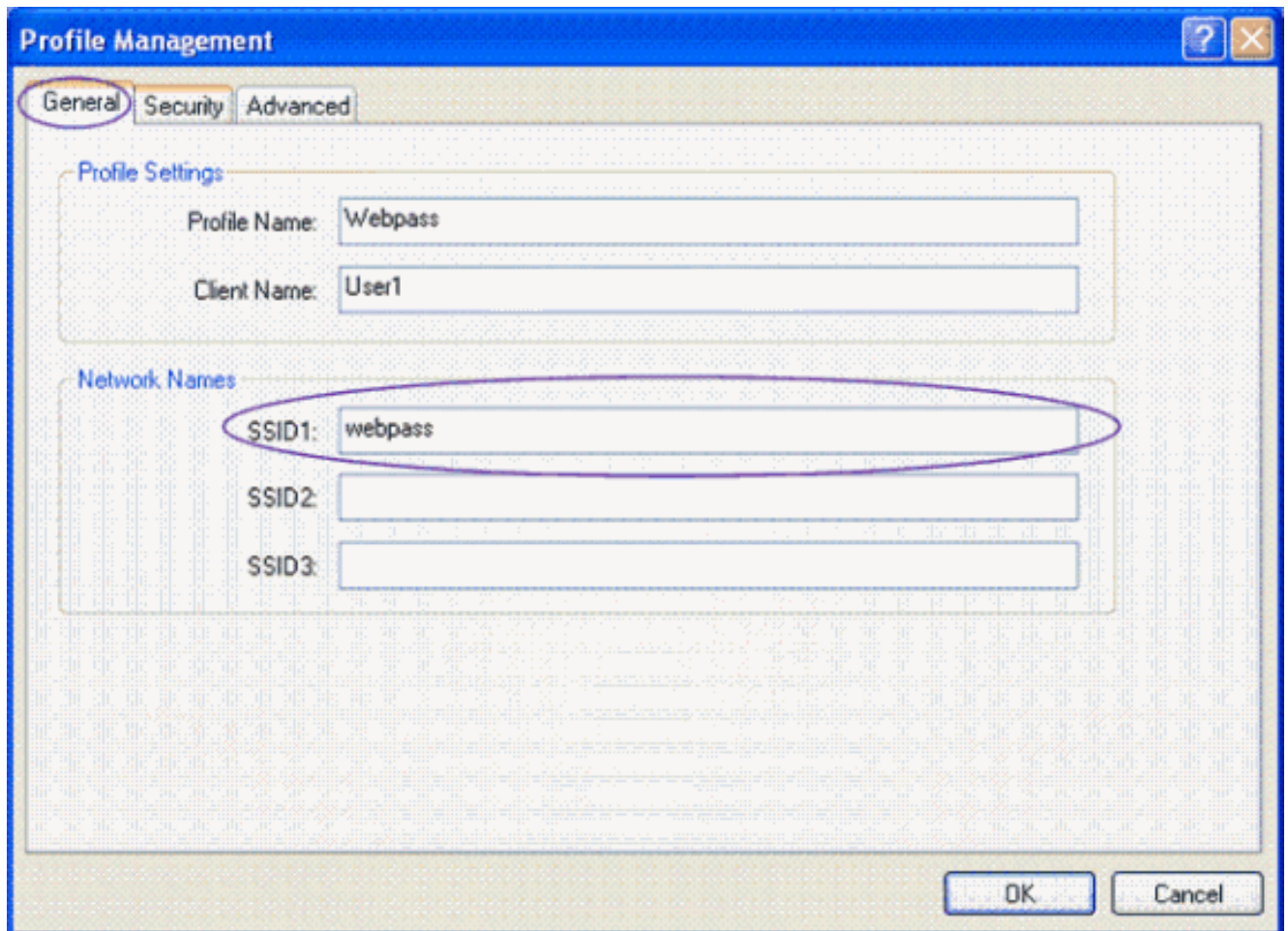
クライアントの設定

クライアント コンピュータに、クライアント アダプタおよび Cisco Aironet Desktop Utility 用のドライバがインストールされていることを確認します。次の手順を実行します。

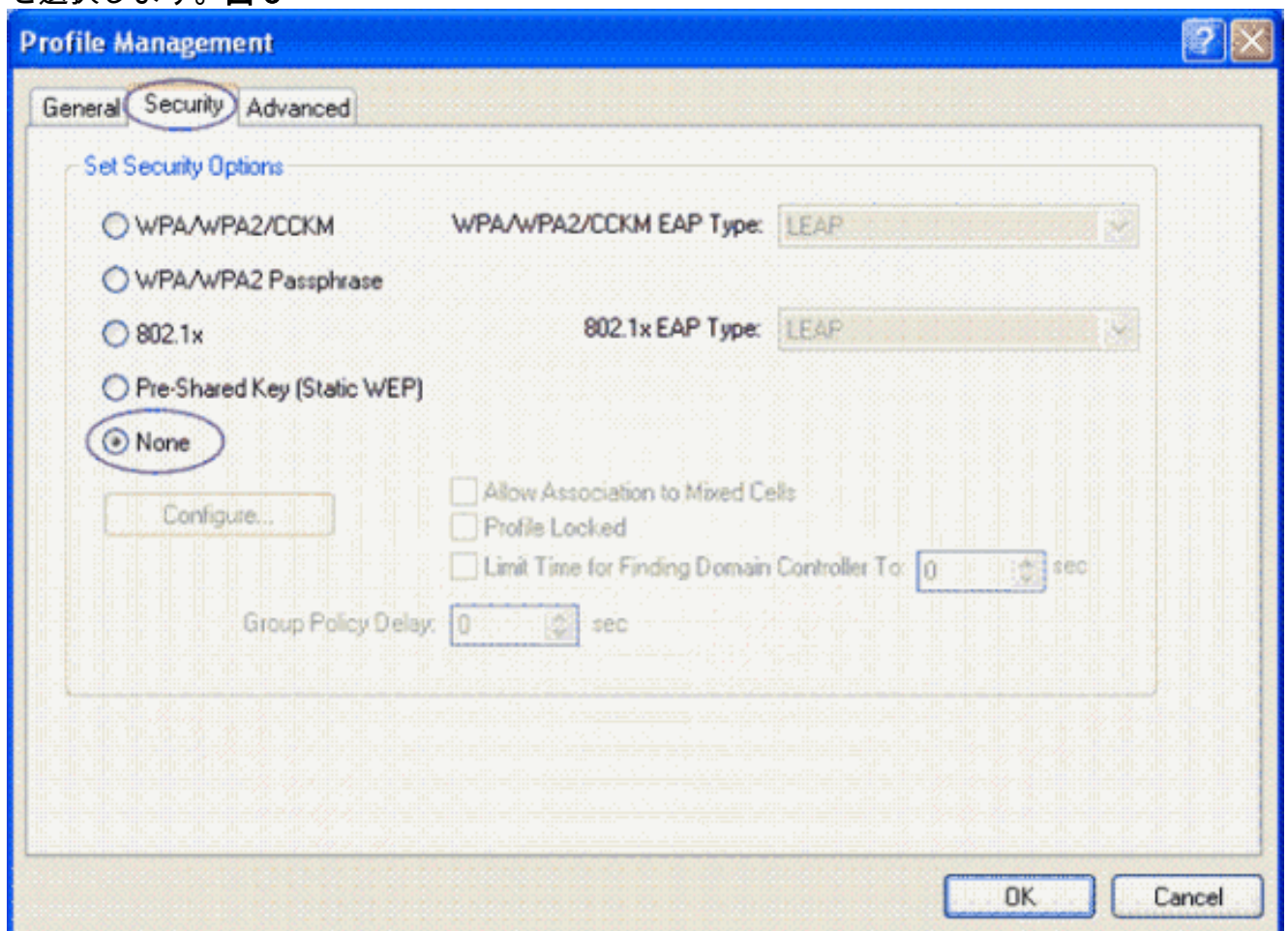
1. デスクトップで Aironet Utility のショートカット アイコンをクリックします。
2. Cisco Aironet Desktop Utility 画面で、[Profile Management] タブをクリックします。
3. 既存のプロファイルをクリックして、[Modify] ボタンをクリックします。図 6 は、ステップ 2 および 3 の実行方法を示します。図 6



4. [General] タブでプロファイル名を選択します。図 7 に示すように、Web パススルー用の WLC に設定されている SSID を入力します。この例では、SSID は *webpass* です。図 7



5. [Security] タブを選択します。図 8 に示すように、セキュリティ オプションとして [None] を選択します。図 8



6. [OK] をクリックします。Desktop Utility のメイン画面に戻ります。

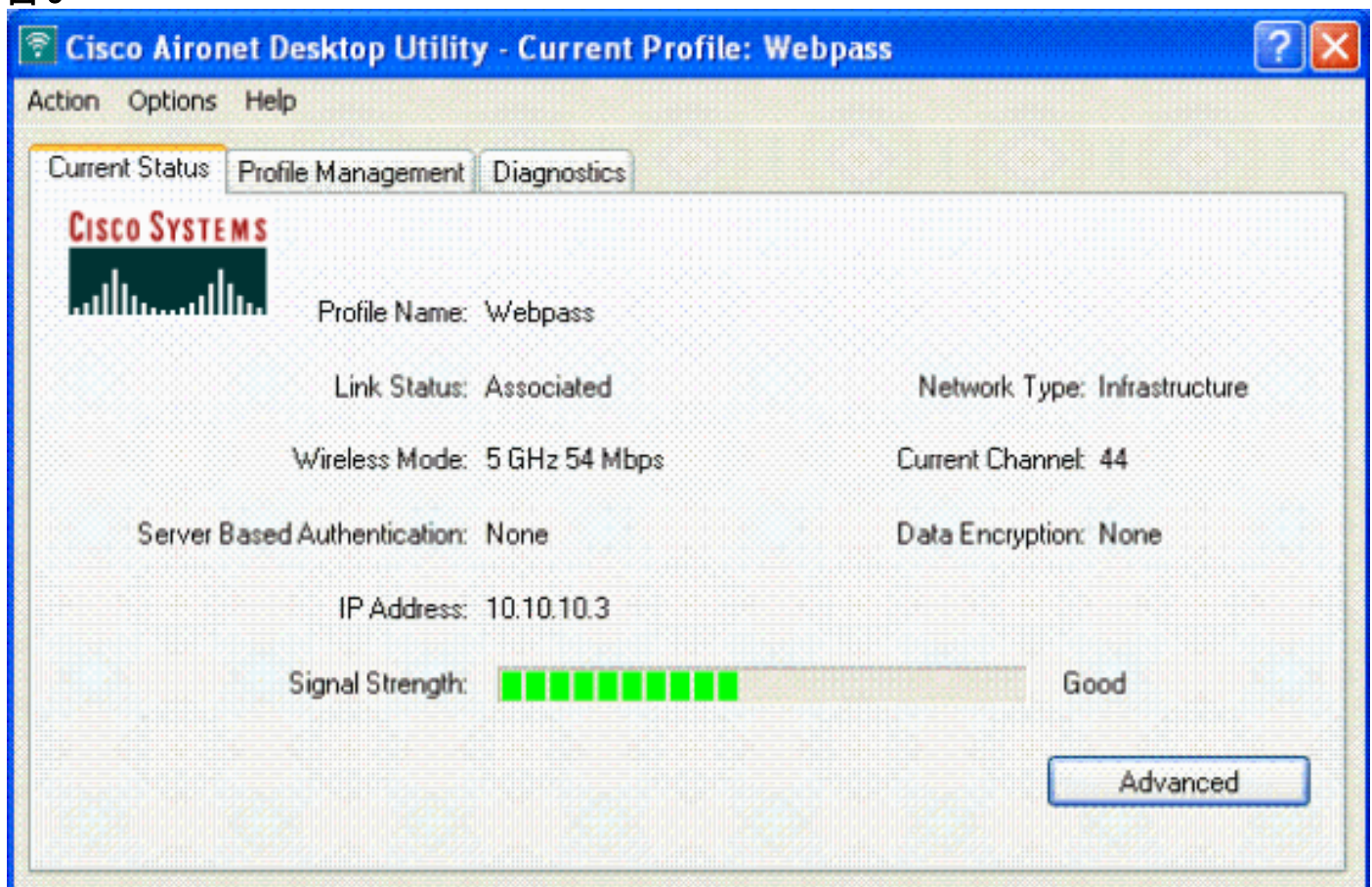
注: ワイヤレスクライアントが VPN エンドポイントでもあり、Web パススルーを WLAN 用のセキュリティ機能として設定している場合、ここで説明されている Web パススループロセスが完了するまで、VPN トンネルは確立されません。VPN トンネルを確立するには、まずクライアントが Web パススルーのプロセスに成功する必要があります。VPN トンネリングが成功するのは、その後だけです。

Web パススルーの検証およびトラブルシューティング

クライアントの検証

ワイヤレス接続が正常に行われた場合、WLC から有効な IP アドレスを取得する必要があります。これを確認するには、[Current Status] タブをクリックします。IP アドレスが正しいサブネットからのものであることを確認します。この例では、10.10.10.0/24 ネットワークで設定された *vlan90* です。図 9 は、ワイヤレス接続が正常に行われたサンプルを示します。

図 9



クライアントを関連付ける WLC を決定するには、図 9 に示すように、画面の下部にある [Advanced] ボタンをクリックします。ここでは、WLC IP アドレスと MAC アドレスは AP IP アドレスと AP MAC アドレスと表示されています。

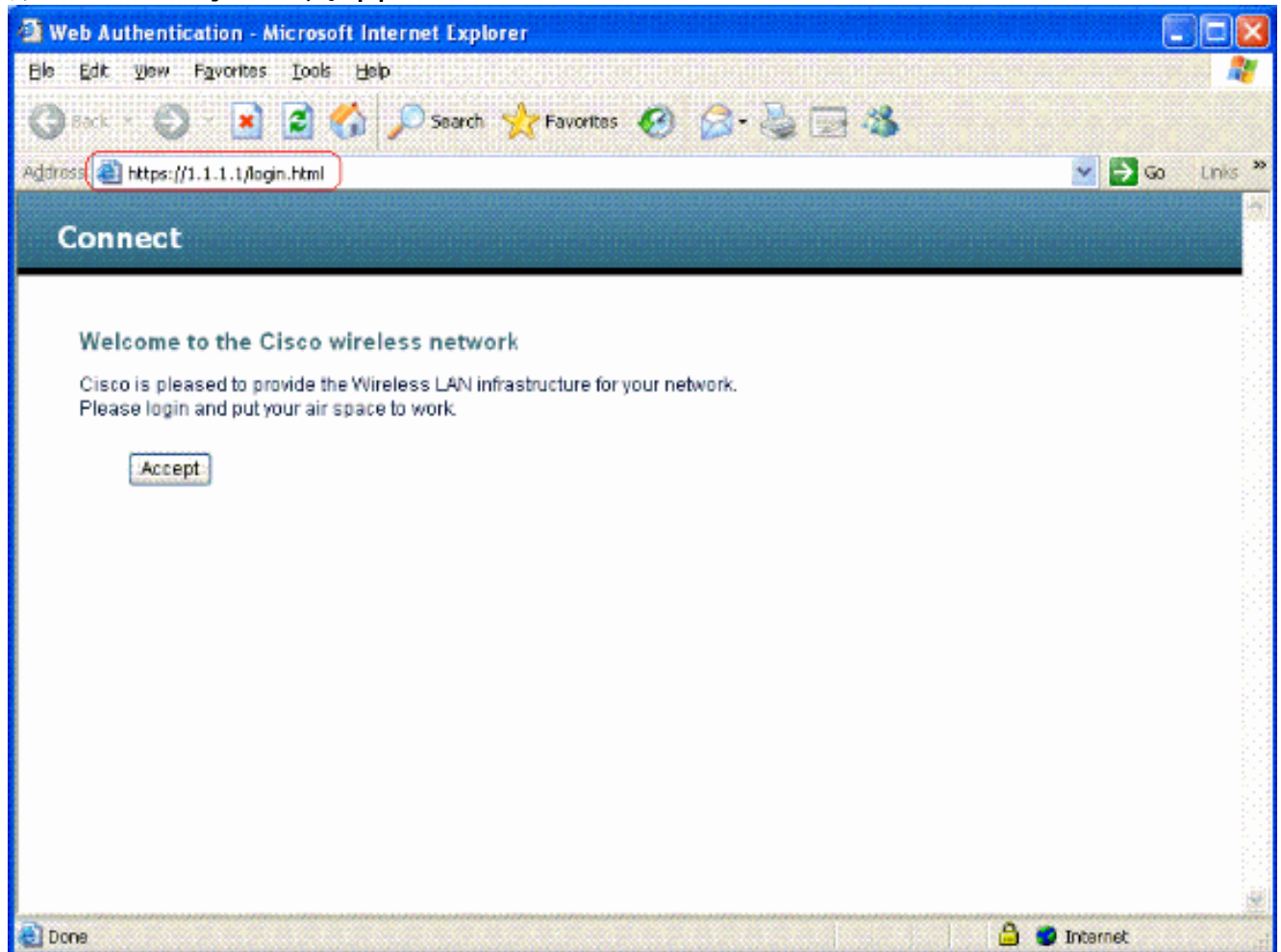
Web パススルー認証の検証

次の手順を実行します。

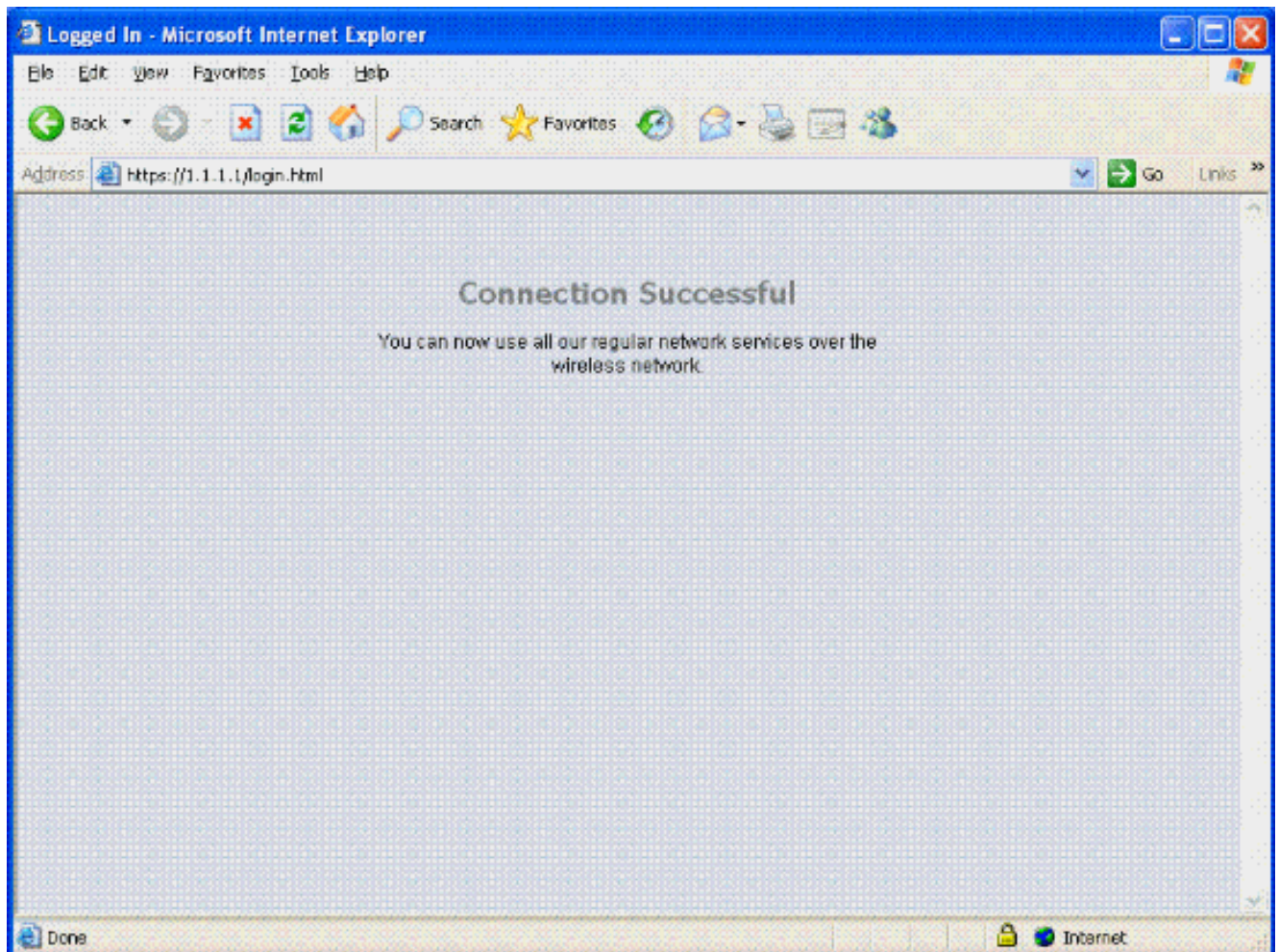
1. ブラウザ ウィンドウを開き、WLC に設定されている仮想 IP アドレスを入力します。ここ

では、セキュアな <https://1.1.1.1/login.html> を使用しています。この手順は、3.0 以前のバージョンでは重要ですが、それ以降のバージョンでは必要ありません。3.0 以降のバージョンでは、どのような URL を指定しても Web パススルーページにリダイレクトされます。セキュリティアラートウィンドウが表示されます。

- 先に進むには、[Yes] をクリックします。図 10 は、クライアントに表示される Web パススルーページを示します。図 10



- Web パススルー ウィンドウが表示されたら、[Accept] ボタンをクリックします。ウィンドウに、接続が正常に行われたことが表示されます。これでインターネット接続を使用できるようになります。図 11 は、接続が正常に行われたことを示すウィンドウです。図 11



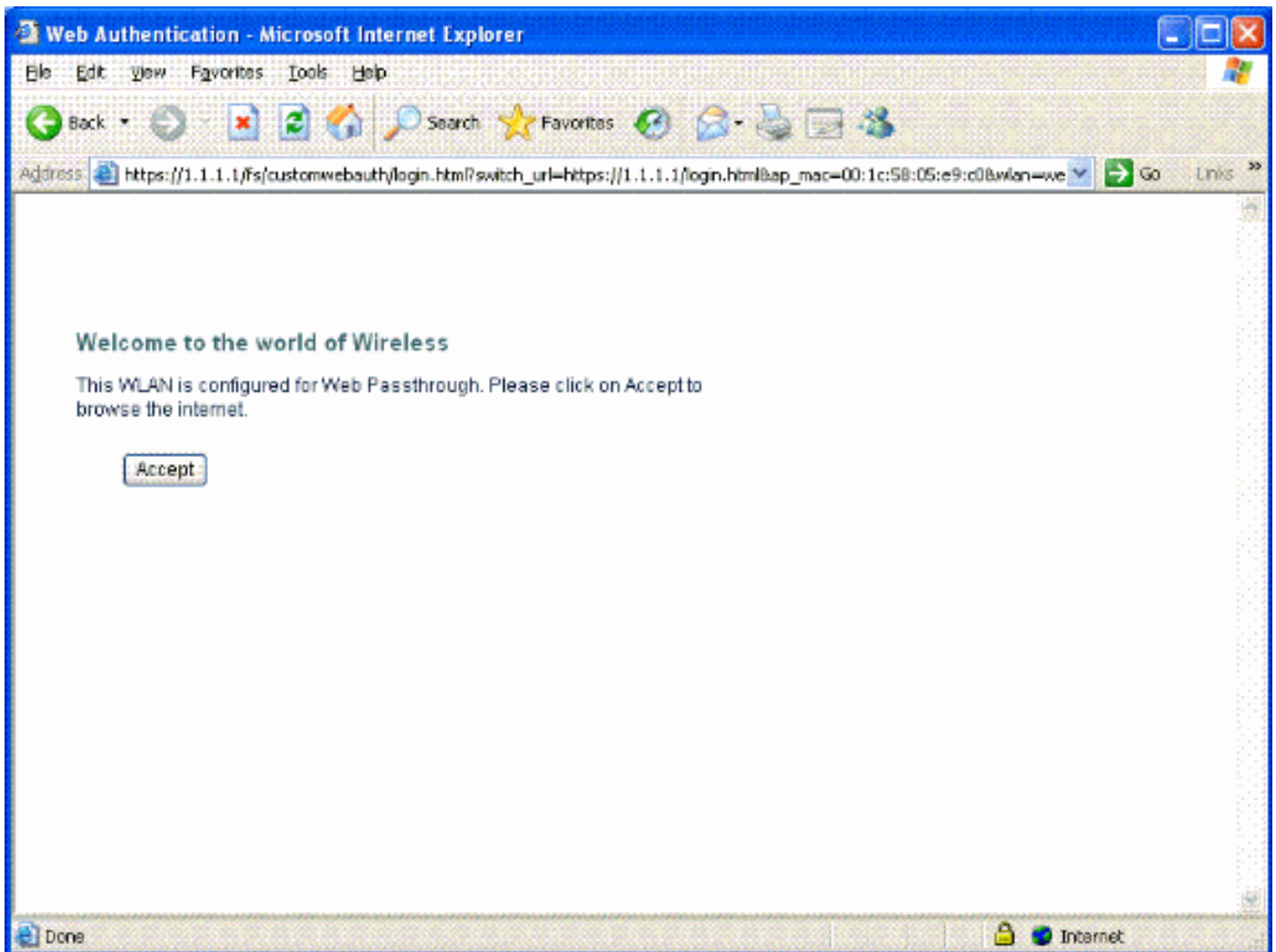
Web パススルーのトラブルシューティング

Web パススルーのトラブルシューティングは、Web 認証の場合と同様です。トラブルシューティングを実施する場合は、『[ワイヤレス LAN コントローラの Web 認証の設定例](#)』（英語）の「[内部 Web 認証のトラブルシューティング](#)」セクション（英語）を参照してください。

Web パススルーのログイン ページのカスタマイズ

デフォルトの Web パススルー ページは、必要に応じてカスタマイズできます。Web パススルー ページをカスタマイズする方法の詳細については、『[ワイヤレス LAN コントローラの Web 認証の設定例](#)』（英語）の「[WLC の Web パススルーの設定](#)」セクション（英語）を参照してください。図 12 はカスタマイズされたページを示します。

図 12



[関連情報](#)

- [ワイヤレス LAN コントローラの Web 認証の設定例](#)
- [Cisco ワイヤレス LAN コントローラ コンフィギュレーション ガイド、リリース 5.0](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)